

# 優良建設工事説明書

工事番号	新庁第2号	工事名	新発田市新庁舎新築(電気設備)工事	
施工場所	中央町3, 4丁目地内	請負金額	811,414,800円	
工期	自 平成26年7月25日 至 平成28年11月30日			
施工業者	大進・ミモ・飯豊特定共同企業体	代表者	大進電業(株) 二瓶雄司	
現場代理人	矢田 隆	主任(監理)技術者	矢田 隆	
【工事概要】 構造:RC+S造 中間免震構造 基礎形式:杭基礎 階数:地上7階、地下1階、PH1階 延床面積:12995.69㎡(付帯建屋含む) ・新庁舎新築工事に伴う電気設備工事 一式 ・屋外における駐車場管制設備 一式 ・構内配電線路 一式 ・構内通信経路 一式	一次下請内容	工種	別紙施工体系図による	
		〃		
		〃		
		業者数		10社
		下請率		
		成績評定点	85点	

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】  
各施工計画が詳細に検討され、特に影響の大きい重要機器等の施工では、過密な作業室周りの影響を考慮し、他の請負者や製造者と連携し検討され、品質精度や作業性向上のための提案が図られ、工程管理も安定し無理のない安全作業に影響して評価できる。

【検査員】  
各工事において、不可視部分の出来形が写真で非常に細かく撮っており的確に確認することができた。関連工事との調整がなされ取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。  
機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。また、試運転等の検査記録も適切に整備されていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



搬入口に制限がある為、給・排気ファン及びダクトはメーカー工場での取外しを指示し、搬入時間短縮をはかった。  
発電機本体等、重量物引込作業にあたり、電動ローラーを採用したことにより、作業員が手を触れることなく安全に作業できた。



設置スペース及び搬入方法等を考慮し、基礎形状 (H=400・ベタ基礎) を (H=150・ゲタ基礎) に変更した。  
機器芯出し及び据付作業は、レベルチェックを徹底し施工精度を高めた。

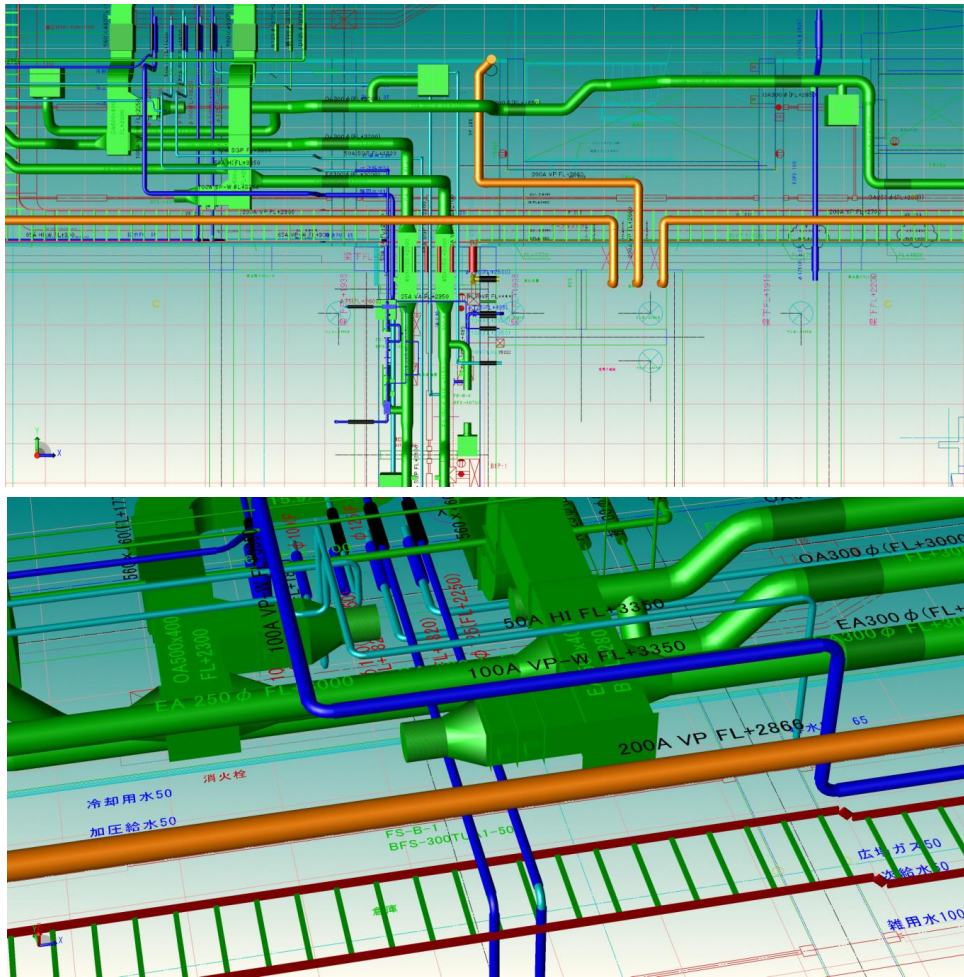
## 優良(建設)工事説明書

工事番号	都街五第4号	工事名	五十公野公園荒町線第1工区道路舗装工事	
施工場所	荒町・五十公野	請負金額	42,282,000円	
工期	自 平成28年10月17日 至 平成29年 3月10日			
施工業者	フジマ舗道(株)	代表者	阿部 嘉一	
現場代理人	越智 賢治	主任(監理)技術者	越智 賢治	
<b>【工事概要】</b> 施工延長 L=523m 法面整形工 A=1390㎡ 植生シート工 A=1390㎡ 上層路盤工 A=4550㎡ 基層工(車道部) A=4550㎡ 表層工(車道部) A=4550㎡ 表層工(歩道部) A=1660㎡		一次下請内容	工種	法面整形工
			"	透水性舗装工
			"	基層工
			"	区画線工
			"	
			業者数	5社
			下請率	
		成績評定点	83点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	<b>【主任監督員】</b> 本線車道部の延長520m・幅員8mにおいて、基層工及び表層工の施工を大型アスファルトフィニッシャー2台による並列施工で行い、ジョイントレス化を図った。これに伴い、クラック誘発の要因となるセンタージョイント(コールドジョイント)を防止でき、高品質・高耐久の基層及び表層に仕上げた。 また、起点部の既設舗装端部を路面切削し、ジョイント部でのクラック防止を図り、摺付を良好に仕上げた。			
		<b>【検査員】</b> 竣工書類は管理項目別に分類し、カラー仕切りやインデックス、一覧表を利用して、丁寧にわかり易く作成されていた。工程管理では、同工事区間に他業者がいる中で、綿密な打ち合わせを実施して、時には効率の悪い施工を行ってでも工期内に工事を完了させてことは評価できる。		
【説明を補足する写真、図面、略図】				
アスファルトフィニッシャー2台による並列施工状況				
				
【基層工】		【表層工】		
起点部のクラック防止処理				
				
【切削状況】 既設舗装面を幅40cm程度切削		【切削完了】		

# 優良建設工事説明書

工事番号	新庁 第3号	工事名	新発田市新庁舎新築(給排水衛生設備)工事	
施工場所	新発田市中央町3・4丁目地先	請負金額	172,735,200円	
工期	平成26年7月25日～平成28年11月30日			
施工業者	関川・増子・新発田特定共同企業体	代表者	㈱関川水道 関川良平	
現場代理人	早見正之	主任(監理)技術者	早見正之・桐生弘・今井昌樹	
【工事概要】 市庁舎本体 構造:RC+S造 中間免震構造 基礎形式:杭基礎 階数:地上7階、地下1階、PH1階 延床面積:12646.22㎡(付帯建屋含む) 外構工事:一式 駐輪場・ゴミ置き場 床面積:310.12㎡・・・1棟 原付置き場・喫煙コーナー 床面積:39.35㎡・・・1棟 アーケード 建築面積:160.88㎡・・・1棟 庁舎:衛生器具設備、給排水設備、排水設備、ガス設備 厨房機器設備・・・各1式 屋外:給水設備、排水設備・・・各1式	一次下請内容	工種	給排水衛生設備工事	
		業者数	7社	
		下請率	82点	
		成績評定点	82点	
		【主任監督員】 構造・意匠が複雑なうえ、配管や機器が集中する天井内や機械室の他業者との取りあいの調整を机上で行うために、従来の2次元CADでなく3次元CADを採用し、3次元データで確認しながら行うことで、2次元では想像しながら行うため起こりがちな見落としや、想像力不足による工事の手戻りや、対処療法的な作業が避けられ、良好な施工管理がなされていた。		
		【検査員】 工事を実施するにあたり、実際のスケールが体験できるように、トイレブース内に便器等の機器を設置したモックアップを現場事務所内で造り、確認をしていた。 市民や高校、大学生たちにも、見学会を開催し特殊な技術や施工法の説明会を数多く実施していた。		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)				

【説明を補足する写真、図面、略図】

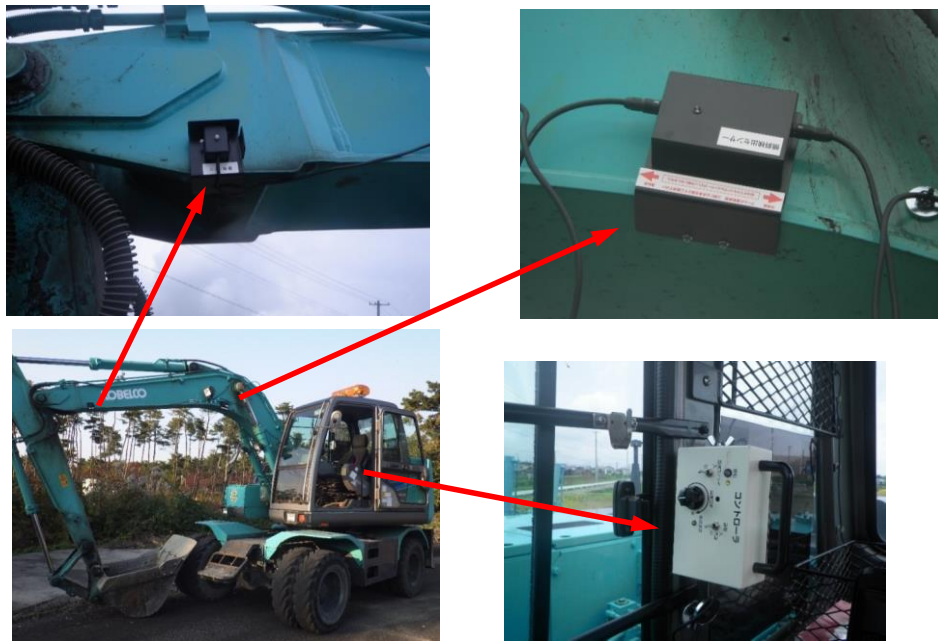


配管を施工するにあたり、他設備をふくめ、何層にも配管が重なるため、施工方法や仕上がりをよりわかりやすく、するため 3DCADにて施工図を作成し、施工にあたった。

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	下紫補第3号	工事名	紫雲寺藤塚浜処理分区舗装復旧(911)工事
施工場所	藤塚浜他	請負金額	30,024,000円
工期	自 平成28年 9月 2日 至 平成28年11月29日		
施工業者	東亜道路工業㈱下越営業所	代表者	伊藤 和也
現場代理人	岩城 洋武	主任(監理)技術者	岩城 洋武
【工事概要】 舗装本復旧 アスファルト舗装工 A=3,280m <sup>2</sup> 区画線設置工 一式	一次下請内容	工種	舗装打替え工
		〃	舗装切断工
		〃	交通誘導工
		〃	
		〃	
		業者数	4社
		下請率	
	成績評定点	81点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 本工事は県道部において行われた下水道管渠工事の本復旧を行う工事である。工事現場は車両の通行量の多さはもとより工事期間も定められている中で、関係機関と綿密な打ち合わせ協議、適切な工程管理を行い、期日とおり現場を完了させた。 地域貢献等においても、現場周辺はもとより、現場から離れている小学校付近の舗装修繕を行うなど大いに評価できる。 現場仕上げも見栄えが良く模範的な工事内容であった。		
	【検査員】 竣工書類は管理項目別に分類し、インデックスを上手く利用して見やすく、内容も丁寧にまとめられていた。安全管理は安全教育、KYミーティング日報等も良好に実施されていることがうかがえた。現場は美観よく仕上げられており、また工程管理を綿密に行って計画工程通り現場完了できた。		

【説明を補足する写真、図面、略図】



①工事現場は車両の通行量の多さはもとより架空線等も無数に張り巡らされている。バックホウに架空線等接近警報システムを取付事故防止に努め、工事の期日内完成の一



②現場周辺だけではなく、現場から離れている藤塚小学校付近に舗装陥没を発見し、自主的に補修し地域貢献に大いに貢献した。

# 優良建設工事説明書

工事番号	下補第12号	工事名	新発田北部処理分区舗装復旧(409-1他)工事	
施工場所	城北町2丁目	請負金額	8,218,800円	
工期	自 平成28年9月30日 至 平成28年12月18日			
施工業者	㈱加賀田組下越営業所	代表者	高橋豊博	
現場代理人	清田 学	主任(監理)技術者	清田 学	
【工事概要】 舗装本復旧 アスファルト舗装工(車道部・基層) A=770㎡ アスファルト舗装工(車道部・表層) A=770㎡ 区画線工 N=1式	一次下請内容	工種	舗装工	
		業者数	5社	
		下請率		
		成績評定点	81点	
		表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 本工事は県道占用の都合により11月末までに完了する必要がある中、通過交通や沿線営業店舗に配慮した交通規制を行い、工事による渋滞を最小限にとどめることができた。また、過積載防止のための工夫、確実な施工など、意識の高い施工は評価すべき点である。  【検査員】 施工体制に関する書類は、必要なものが全て添付されており、良く纏められていたこと。道路管理者との現場立会を踏まえ、舗装復旧範囲を確定させた後、数量表、舗装傍面図、区画線図を丁寧に整理し、事前に提出していたこと。排出対策型機械(低騒音型も含む)の整理が素晴らしかったこと。廃材運搬に使用した車両が「許可車両」であることを良く認識して、検証していたこと等。また、出来ばえは、交差点部等、施工に神経を使う箇所もあったが、舗装面や区画線の仕上げ、消雪パイプ等の構造物への擦り付けは、大変丁寧に、上手く施工していたことも、評価したい。	

## 【説明を補足する写真、図面、略図】



交通量の多い交差点内での舗装復旧工事であるにもかかわらず、渋滞が発生しないような重機配置、交通規制を行った。



基層の施工ジョイントにはクラック防止シートを設置し、確実な施工を行った



舗装廃材の過積載にならないよう、重量から剥ぎ取り面積、範囲を算出。オペレータの目安になるようマーキングする工夫を行った。

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	都公線第1号	工事名	外ヶ輪公園遊具更新工事
施工場所	中央町5丁目	請負金額	11,750,400円
工期	自 平成 28年 11月 7日 至 平成 29年 3月 10日		
施工業者	㈱新潟グリーンテック	代表者	石井政一郎
現場代理人	石井政明	主任(監理)技術者	石井政明
【工事概要】 遊具撤去 N = 8基 遊具設置 N = 5基	一次下請内容	工種	遊具組立設置工
		〃	遊具組立設置工
		〃	交通誘導
		業者数	3社
		下請率	
		成績評定点	81点

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】  
遊具基礎コンクリートの下部にコンクリート版を用いたこと、一部分の遊具基礎部分において基礎ブロック(二次製品)を使用したことで工程の短縮化及び品質向上を図った。第三者災害防止への対策として、防護ネットにて施工範囲の養生を行い施設利用者の安全確保に努めていた。携帯用の緊急時連絡表を作業者に常備させ、緊急時迅速対応可能となるよう工夫していた。設置した遊具周囲の水溜り解消、石等不要物の除去並びに遊具エリアの明確化のため、最終的な仕上がり面を現地土壌ではなく川砂を用いて施工し、安全に快適に利用できるよう工夫していた。

【検査員】  
竣工書類は管理項目別に分類し、一覧表やインデックスを利用して、丁寧に作成されていた。工程管理では、現場条件により冬期間の限られた施工期間の中で、周囲の安全に気を配りながら適正な施工管理・工程管理を行い、工事完了したことは評価できる。

【説明を補足する写真、図面、略図】



コンクリート二次製品等の使用：工程短縮 + 品質向上



防護ネット区画、携帯用緊急時連絡表：第三者災害防止 + 緊急時迅速対応



遊具周囲仕上がり面の工夫：水溜り解消 + 安全性向上

# 優良建設工事説明書

工事番号	簡第20号	工事名	滝谷新田地区簡易水道発電機及び配水ポンプ更新工事
施工場所	新発田市滝谷地内	請負金額	29,948,400円
工期	自 平成28年10月6日 至 平成29年 2月17日		
施工業者	飯豊電設工業株式会社	代表者	桑野 博
現場代理人	田澤 真一	主任(監理)技術者	田澤 真一
【工事概要】 発電機取替 1式 配水ポンプ取替 1式 発電機電気回路改修 1式 動力盤改修 1式 圧力センサー移設 1式 吸気口増設 1式 電源ケーブル延長及びルート変更 1式	一次下請内容	工種	配水ポンプ更新工事
		業者数	3社
		下請率	
		成績評定点	81点

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

【主任監督員】  
工事写真撮影時、蔵衛門パッドにより、黒板を電子化、事前に黒板を作成し、現場写真と合成することによって、現場作業の手を止めず作業時間を短縮するとともに、写真管理及び写真撮影の簡素化、効率化にもつながった。また、細部にわたる社内検査を実施し、金具、ボルトによる引掛け事故防止の安全対策措置等何点かの改善点が指摘され、積極的な事故防止、安全対策への努力が認められた。また、アスベスト除去作業においては、地域住民に向けた作業内容や基本知識、安全対策等の掲示を行い、立入禁止措置も徹底し、住民の不安解消に尽力した。

【検査員】  
工事写真の整理について、黒板が入るソフトを利用し、事前に工事名や施工状況の記入をするなどし、作業時間の短縮を図るとともに、ミスや撮り忘れも防ぐ工夫を実施していた。  
また、安全対策にも配慮し、金具やボルトにキャップを取付けることで、施工中から今後のメンテナンス時においても引掛け事故防止措置を行っていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



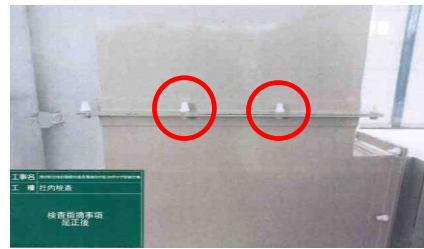
カメラ兼用のパッド。黒板が電子化されることで、黒板を持つ人員、労力の削減にもなる。



黒板の作成状況。事前に作成することで、撮り忘れ防止効果もある。



金具、ボルトにキャップ、保護器具を取付することによる引掛け事故防止措置。



金具、ボルトにキャップを取付することによる引掛け事故防止措置。



踏み抜き防止注意喚起措置。



アスベスト除去に関する基礎知識及び除去作業についての掲示

# 優良建設工事説明書

工事番号	総 第 2号	工事名	新庁舎周辺整備 工事
施工場所	中央町3, 4丁目	請負金額	13,532,400円
工 期	自 平成28年 8月26日 至 平成28年 12月 9日		
施工業者	北越ロードサービス(株)新発田支店	代表者	小泉 健一
現場代理人	山口 朋典	主任(監理)技術者	山口 朋典
【工事概要】 施工延長 L=143.0m 舗装工(歩道) A=430.0㎡ 舗装工(車道) A=45.0㎡ 側溝工 L=86.0m 標識移設 N=3.0基	一次下請内容	工 種	
		"	構造物工
		"	特殊ブロック舗装工
		"	舗装切断工
		業者数	4社
		下請率	
		成績評定点	81点

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

【主任監督員】  
既設舗装とのジョイント部は、温度により収縮シクラック等が発生する可能性があるため、成形目地材を設置シクラック発生防止を図った。また、工事看板の工夫や注意喚起のプレート設置など、安全対策にも重点的な取り組みを行い、現場周辺の側溝清掃を実施することで地域への貢献も行いながら、工事は良好な施工に努めたことを評価した。

【検査員】  
竣工書類は管理項目別に分類し、またインデックスやインデックスを色分けして丁寧に書類をまとめており、検査時に説明を求めた書類についても的確に提示し説明することができていた。現場は他工事の同時施工が多く、監督員及び他業者と十分に工程の管理・調整を実施して、当初計画通りに工事を完了していた。施工管理は既設構造物や現道との擦り付け、表面の仕上がりが、構造物の通りなど、良好であった。

【説明を補足する写真、図面、略図】

ジョイント部に成形目地材設置状況



現場周辺の清掃状況



規制看板のスケルトン化及び重機に注意喚起のプレート設置





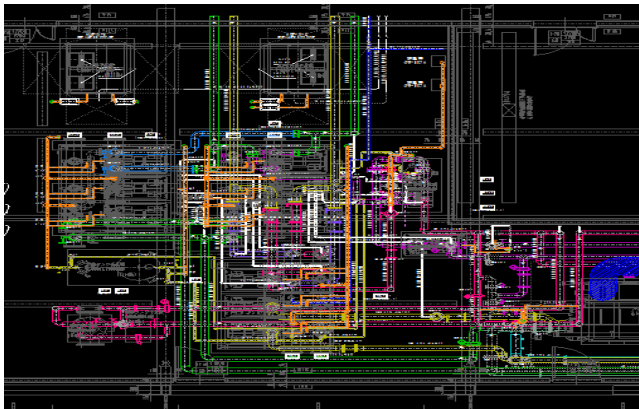
# 優良建設工事説明書

工事番号	新庁第4号	工事名	新発田市新庁舎新築(空調設備)工事	
施工場所	新発田市中央町3, 4丁目地内	請負金額	617,176,800円	
工期	自 平成26年7月25日 至 平成28年11月30日			
施工業者	新菫・大堀・中山特定共同企業体	代表者	新菫工業(株) 荒井 英之	
現場代理人	齋藤 剛	主任(監理)技術者	齋藤 剛	
【工事概要】 構造:RC+S造 中間免震構造 基礎形式:杭基礎 階数:地上7階、地下1階、PH1階 延床面積:12995.69㎡(付帯建屋含む) ・新庁舎新築工事に伴う空調設備工事 一式、換気設備 一式、自動制御設備 一式	一次下請内容	工種	添付施工体系図のとおり	
		〃		
		〃		
		〃		
		業者数	17社	
		下請率		
成績評定点	81点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 構造・意匠が複雑なうえ、配管や機器が集中する天井内や機械室の他業者との取りあいの調整を机上で行うために、従来の2次元CADでなく3次元CADを採用し、3次元データで確認しながら行うことで、2次元では想像しながら行うため起こりがちな見落としや、想像力不足による工事の手戻りや、対処療法的な作業が避けられ、良好な施工管理がなされていた。			
	【検査員】 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認でき、また、設置状態、据付け状態が適切である。製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する各種証明書がきちんと整備されている。工事打合せにおいて、各種配管関係の立体的な状況を確認するため、3DCADを利用し施工の効率化を実施していた。			

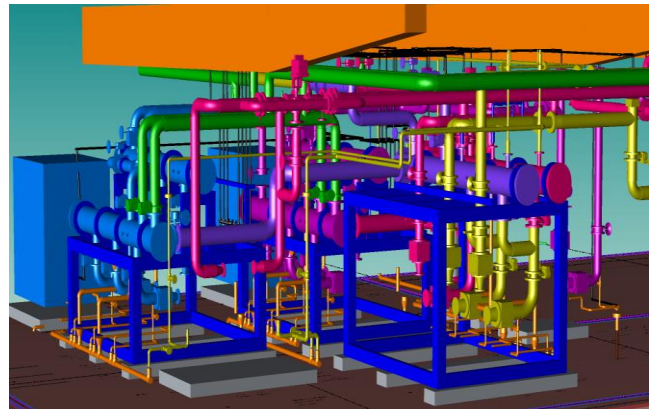
【説明を補足する写真、図面、略図】



3次元CADの操作講習



機械室 配管施工図(平面図)



機械室 配管施工図(3次元変換)

# 優良建設工事説明書

工事番号	下豊複第3号	工事名	豊浦北部第4処理分区舗装復旧(79-2他)工事	
施工場所	乙次他	請負金額	10,011,600円	
工期	自 平成28年10月20日 至 平成29年 1月 7日			
施工業者	丸運建設(株)下越支店	代表者	小林 勝一	
現場代理人	幾野清人	主任(監理)技術者	幾野清人	
【工事概要】 舗装本復旧 アスファルト舗装工 A=1,178㎡ 区画線工 1式	一次下請内容	工種	舗装版切断	
		〃	路面切削工	
		〃	区画線設置	
		〃	交通誘導	
	業者数	4社		
	下請率			
	成績評定点	81点		

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

【主任監督員】  
施工時において、接着性が高いが、付着抑制効果があるAs乳剤を使用したことにより、ダンプトラック等への乳剤の付着が抑制され、周辺道路の汚れを防止した。また、As切断時の泥水を脱水・濾過するシステムを用い、産業廃棄物の発生低減に配慮していた。利用者の多い豊浦支所前の施工時には、事前に工程と交通規制を書面で案内し、対外関係も良好であった。

【検査員】  
工事書類は管理項目別にファイルに分類し、インデックスを利用して、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでいた。現場精査の結果を考慮し、オーバーレイから剥ぎ取り本復旧舗装工へ承認工事とすることで、施工量の少ない舗装面となり、滑らかな道路に仕上がった。本工事は県道の占用工事であり、工期とは別に施工期限があったが、良好な工程管理の下、期限内に工事を完了させたことは、前記の承認工事と併せて評価できる。

【説明を補足する写真、図面、略図】



付着抑制効果のあるAs乳剤(タックファインE)

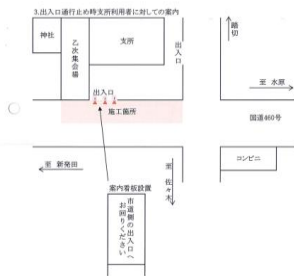


As切断水循環濾過システム

下水道工事に伴う舗装工事について  
1.工事概要  
工事名 下豊複第3号 豊浦北部第4処理分区舗装復旧(79-2他)工事  
発注者 新豊田市下水道課  
受注者 丸運建設株式会社 下越支店  
監工(監理) 新豊田市土木部(豊浦事務所)  
工期 平成28年10月20日～平成29年1月7日  
施工数量 舗装本復旧工1313㎡

日付	内容	支所への出入りについて
11月17日～11月19日	舗装版切断工	出入りは可能
11月21日～11月26日	舗装打設工	11月24日午後支所への出入り禁止となります
11月28日	区画線工	その日の出入り可能
11月29日	剥ぎ取り～オーバーレイ工	出入り禁止となります
11月29日	区画線工	出入りは可能

※悪天候時は中止になる場合があります。その際は掲載とは異なります。



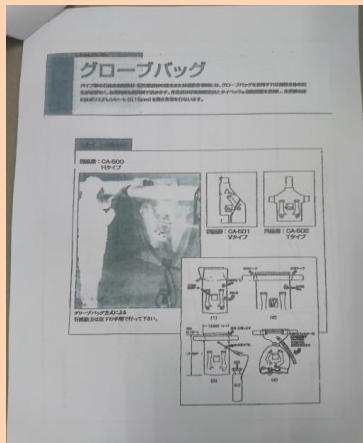
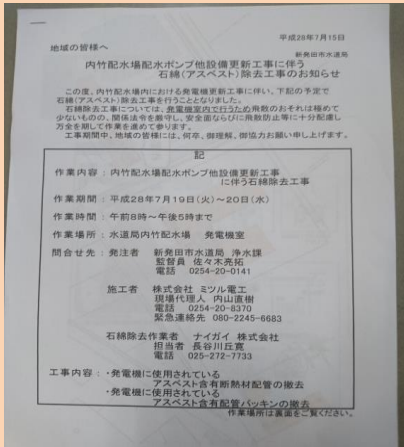
豊浦支所内規制状況

豊浦支所向けへの工事案内文

# 優良建設工事説明書

工事番号	配水第1号	工事名	内竹配水場配水ポンプ他設備更新工事	
施工場所	新発田市下内竹地内	請負金額	348,840,000	
工期	自 平成28年4月28日 至 平成29年2月28日			
施工業者	ミツル電気(株)	代表者	中村 寛之	
現場代理人	内山 直樹	主任(監理)技術者	中村 寛之	
【工事概要】 ・両吸込渦巻ポンプ 1台 ・インバータ盤 1面 ・仮設変圧器 1台 ・自家発電装置 1式 ・1系発電機室建築改修 1式 ・不断水凍結工事 一式 ・ポンプ周り配管更新 一式 ・中央監視設備機能増設 一式 ・既設不要機器撤去 一式	一次下請内容	工種	土木工事	
		〃	電気計装設備	
		〃	電気設備工事	
		〃	機械設備	
		〃	自家発電設備	
		〃	配管凍結工事	
		〃	建築工事	
業者数	7社			
下請率				
成績評定点	81点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 アスベスト除去作業において、事前に近隣住民に向け作業内容や安全対策等の説明文書の配布を行い住民の不安解消に尽力し、安全に作業を進めた。また、発電機室外の給気フード及び排気管周りに安全対策としてフェンスの設置を提案し実施した。			
	【検査員】 自家発電設備、配水ポンプ、システム機器等の設置状態、又は据付け状態が適切であった。また、仕上げ面、配線状況、色むら、つやなども丁寧に施工されていた。 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する出荷証明、試験成績表等の証明書がきちんと整備されている。			

## 【説明を補足する写真、図面、略図】



・アスベスト除去作業において文書を配布を行い不安解消に尽力した。



・発電機室外に安全対策としてフェンス設置を実施した

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	除雪第1号	工事名	竹ヶ花線 さく井 工事
施工場所	荒町 地内	請負金額	13,813,200円
工期	自 平成28年 11月15日 至 平成29年 3月10日		
施工業者	新菫工業(株)	代表者	荒井英之
現場代理人	島津 稔	主任(監理)技術者	島津 稔
【工事概要】 消雪用井戸さく井工(深度63m) N=1箇所 ポンプ据付工(φ100×11.0Kw×3段) N=1基 電気設備工 1式	一次下請内容	工種	さく井工
		"	ポンプ設置工
		"	ポンプ室設置工
		"	送水工
		"	電気設備工
		業者数	7社
		下請率	—
成績評定点	80点		
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 工事打ち合簿等の工事書類は、案件ごとに遅れることなく確実に提出していた。さく井工事の懸念事項である振動・騒音についても、測定を行い、沿線住民への配慮を徹底し、苦情もなく工事完了をした。品質・出来形・安全・工程すべての施工管理において良好な成果をあげ、他工事の模範となった。		
	【検査員】 工事書類は管理項目別にファイルに分類し、大小のインデックスを色分けをしながら利用して、さらに一覧表や集計表で内容を整理する等、書類の作成に丁寧に取り組んでおり、見やすく理解しやすい書類であった。工事は監督員とこまめに打合せを行い、地元対応も十分に行って、良好な施工管理であったことがうかがえた。		

【説明を補足する写真、図面、略図】



さく井掘削作業中の振動・騒音の測定を行い、基準範囲内での作業管理を行った。



消雪パイプ送水管が上水道管と誤認防止の為、送水管の表示と融雪管用の理設シート設置



ケーシング接続時の接着剤を着色の物を使用,接着剤塗布時に塗り残し箇所が無いよう目視確認を行いやすい工